

令和元年度老人保健健康増進等事業

居宅系サービス事業所等におけるCHASEプロトタイプを介した
科学的介護に資するデータの収集・活用に関する調査研究

株式会社三菱総合研究所

1. 事業実施目的

高齢者の状態・ケアの内容等を収集するデータベース（以下、「CHASE」という）は、介護分野におけるエビデンスの蓄積と活用に向けて全国の介護施設・事業所からデータを収集するとともに、蓄積された情報の分析の成果をフィードバックすることによって、事業者におけるサービスの質の向上につなげることを目的としたシステムである。本事業では、2020年度のCHASEの本格運用に向け、CHASEで収集の対象とする項目の現時点の収集実態及び将来的な収集見込みの把握とCHASEの本格運用に向けた課題の整理することを目的とした。

2. 事業の概要

(1) 検討委員会の設置・開催

本事業の実施にあたっては、科学的裏付けに基づく介護に係る有識者及び関連団体の関係者等8名から構成する検討委員会を設置し、持ち回りによる開催と書面により開催の計2回開催した。検討委員会では調査の実施方針の検討と調査結果の評価について検討を行った。

(2) データ収集のフィジビリティの検証と課題の抽出

WEBサイト上で回答していただく方式で、17のサービス種別を対象としてのアンケート調査を実施した。サービス種別ごとに無作為抽出し、全体で5,000件の施設・事業所を対象に、管理者等（介護現場での介護ソフトの利用や評価項目の実態について把握している方）を回答者として指定し実施した。アンケート結果を受けて、CHASEの初期仕様として収集の対象とする項目について、介護業務支援ソフト（以下、「介護ソフト」という）の利用状況や、現時点の収集実態、将来的な収集の見込み等を把握した。

(3) 報告書作成

(1) 及び (2) の結果を受けて、本業務についての報告書を作成した。

3. 事業結果の概要

本調査研究において、CHASEの今後の展開・運用に向けた課題として、介護事業所からインターネットを通じてCHASEを利用する場合の課題、CHASEに登録するデータの効率的な収集に関する課題、CHASEに登録するデータの信頼性に関する課題、介護事業所におけるCHASE項目の記録状況に関する課題、介護業務支援ソフトを使用していない介護事業所に関する課題を整理した。

今後のCHASEによるデータ収集の課題解決への取り組み及び収集の対象としている項目の見直しの際の基礎データとして活用頂きたいと考えている。

以上